

小規模企業共済資産 平成 25 年度運用状況に対する「資産運用委員会」の評価

平成 26 年 7 月

独立行政法人中小企業基盤整備機構 資産運用委員会

独立行政法人中小企業基盤整備機構(以下「機構」という。)に設置された外部の有識者で構成する資産運用委員会は、平成 26 年 6 月 23 日に開催した同委員会において、機構事務局より平成 25 年度運用状況の報告を受けて、「小規模企業共済資産運用の基本方針(以下「基本方針」という。)」等を踏まえ審議し、運用の評価を以下のとおり取りまとめ公表する。

平成25年度 運用概況	評 価
<p>1. 運用全般の概況</p> <p>(1) 平成 25 年度の市況は、上半期は日銀の大規模な金融緩和策や、米国を中心に金融緩和政策継続見込みが強まったことなどを背景に、大半の主要国で株価は上昇、為替は円安基調で推移した。</p> <p>(2) 寒波による米国経済の低迷や、ウクライナ情勢緊迫化等により、年明け以降の国内株式は軟調に推移した。</p> <p>(3) 資産運用の基本方針に基づき、安全かつ効率的な運用を基本原則とし、その基本ポートフォリオは、長期的に収益を安定的に確保するとともに、共済金の支払いに必要な流動性を確保(運用資産の約7割を満期保有債券で安定的に運用し、市場運用で時価評価の対象となる委託運用資産の割合は2割程度)。</p> <p>(4) 平成 25 年度は、満期保有債券利息を中心とするインカムゲイン 1,046 億円に加え、信託運用益のキャピタルゲイン 2,404 億円を計上、全体で <u>3,450 億円の運用収益を上げており、運用利回りはプラス 4.28%</u>となった(過去 9 ヶ年の平均(幾何平均)運用利回りは 2.05%)。前年度末に対して<u>繰越欠損金は 2,617 億円減少した。</u>(平成 25 年度末繰越欠損金 2,083 億円)。</p>	<p>1. 運用全般の評価のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用の基本方針等に沿って適切に運用・管理がなされている。

平成25年度 運用概況	評 価
<p>2. 運用資産ごとの概況</p> <p>2-1. 自家運用資産</p> <p>(1)国内債券(簿価)</p> <p>満期保有目的で、5年、10年、20年の目標年限債券で構成するラダーに基づき、毎月計画的に取得(額面7,274億円、額面加重平均クーポン1.167%)。取得債券は、国債、地方債、政府保証債、財投機関債、社債、金融債。</p> <p>平成25年度末の保有残高は5兆7,569億円で、運用資産の69.1%を占め、毎年度安定した運用収益を確保。平成25年度の運用利回りは1.680%(前年度1.713%)。</p> <p>(2)融資経理貸付金</p> <p>小規模企業共済契約者に対する貸付制度の資金として、融資経理へ年1.0%で資金融通。平成25年度末残高は3,716億円で、運用資産の4.5%を占める。</p> <p>(3)生命保険資産</p> <p>元本及び予定利率が保証される一般勘定団体年金保険で運用(予定利率1.25%)。平成25年度末の資産額は3,135億円で、運用資産の3.8%を占める。平成25年度の保険事務費控除後の運用利回りは、1.90%(前年度1.63%)。</p>	<p>2. 運用資産ごとの評価ポイント</p> <p>2-1.自家運用資産</p> <p>・運用の基本方針等に沿って適切に運用されている。</p>

平成25年度 運用概況

評 価

2-2. 委託運用資産(国内株式、国内債券(時価)、外国株式、外国債券)

2-2.委託運用資産(国内株式、国内債券(時価)、外国株式、外国債券)

平成 25 年度は、前年度に引き続き円安株高が進んだことから、委託運用資産全体の収益率(報酬控除前時間加重収益率)は 15.97%(前年度は 17.78%)と大幅なプラスとなった。

- ・運用の基本方針等に沿って適切に運用されている。
- ・個別評価では、一部パフォーマンス不芳なファンドがあるが、適切な管理が行われている。

一方、ベンチマーク収益率は 16.22%(前年度は 18.34%)となり、超過収益率は▲0.25%となった。これは、米国の金融緩和縮小による新興国への影響や、ウクライナ情勢の緊迫化が懸念され新興国市場が軟調に推移した結果、ベンチマーク対比でオーバーウェイトしていた新興国株式がマイナスに寄与したこと等によるもの。

資産区分	収益率	ベンチマーク	超過収益率
国内株式	19.11%	18.56%	0.54%
国内債券(時価)	0.57%	0.58%	▲0.01%
外国株式	31.34%	32.43%	▲1.09%
外国債券	15.03%	15.28%	▲0.26%
運用ファンド全体	15.97%	16.22%	▲0.25%

また、平成 24 年度に行った国内株式のマネージャー・ストラクチャーについては、平成 25 年 6 月に採用し、運用を開始した。

【補足】 小規模企業共済で採用している各運用資産のベンチマークは、以下のとおり。

- ・国内株式:TOPIX(配当込み)
- ・国内債券:NOMURA-BPI(総合)
- ・外国株式:MSCI-KOKUSAI(配当再投資、GROSS、円換算)
- ・外国債券:WGBI[シティ世界国債インデックス](除く日本、円換算)